



## 市民一丸となってコロナ対策を!

—新型コロナウイルス対策のための  
広報活動を実施—

県内の新型コロナウイルスへの警戒度レベルが「特定警戒」に引き上げられたことに伴い、市では、1月から広報車によるコロナ対策の呼び掛けを実施。この活動に市消防団の全ての分団において協力を開始し、1月11日には市消防本部で出発式が行われました。

また、JR・東武両駅前における呼び掛けも実施し、佐藤市長や黒川消防長、伊藤団長などが参加。初回となった1月22日の朝には、駅の利用者などに向け、コロナ対策や外出自粛の徹底を訴えました。

## 鹿沼の農業を担う人材育成のために

—ニラ栽培体験研修—

年々減少しているニラ農家への新規就農を支援するため、市は平成30年よりニラの就農研修を開始。そしてこのたび1月11日に、ニラの栽培体験研修を開催しました。

市内外から参加した5人の新規就農希望者は、県・市の農政担当者から研修制度等の説明を受けた後、南部営農経済センターのニラ集荷場を見学。続いてJA鹿沼にら部長・稲川さんのビニールハウスへ移動し、収穫や出荷調整作業を体験しました。



## 子どもたちが職業を考えるきっかけに

—IT企業から図書寄贈—

1月19日、IT関連業「ITSupportパソコン太郎」(千渡)から小学校へ絵本が寄贈されました。

絵本『ひう島のホリエモンくんとひろめてぱそこんたろう』は、実業家・堀江貴文氏の協力を得て制作されたもので、物語を通してオンラインサロンの仕組みが分かる内容。佐藤市長から感謝状の贈呈を受けた同社の社長・パソコン太郎氏は、絵本について「子どもたちが職業選択について考えるきっかけになって欲しい」と語りました。



## おいしいいちごを給食で

—JA かみつがから学校給食へのいちごの贈呈式—  
(JA かみつが)

1月19日、市役所でJAかみつがから学校給食へのいちごの贈呈式が行われました。

この事業は、市内小中学校の給食用にいちごを提供することで、子どもたちの食への関心を高め、食を支える農業の役割を感じてもらおうというもので、今回で6回目となります。今年度は256箱分のいちごが贈られ、1月26日・27日に子どもたちに給食で振る舞われました。

